



改正地域別最低賃金周知 街頭行動



一〇月六日、地域別最低賃金が改正発効（一〇月一日）になったことから構成会組の協力も得ながら幹事会役員は、早朝から路上交差点で周知ボードを掲げて通行車両への周知行動を実施した。県内の中小・未組織労働者、パート労働者の労働条件の改善を図るため、八月二三日の最低賃金審査会で前年より二円引き上げとなる時給七三〇円で結審した。なお、深夜勤務（午後一〇時～午前五時までの勤務時間）の場合は、二五%が加算され時給九三〇円になる。この他にも時間外割増や休日割増が加算されるケースもある。最低賃金は、県内事業所で働く全ての労働者と労働者を一人でも雇用する全ての使用者に適用され、違反した場合は五〇万円以下の罰金が科せられる。

「最賃の改正額を知らなかった」などの理由により最低賃金が守られない、また、中小企業の経営悪化に伴い、しわ寄せが労働者に転嫁され、不払い残業、賃金引下げ、解雇をはじめとする労働問題の発生を防ぐため、街頭行動、街宣、チラシの新聞折り込み（一〇月八日東海新報）地域紙に行動記事を掲載するなど、最低賃金の発効と改正金額の周知を図った。

また、一〇月二七～二八日（二〇時～一八時）には、連合気仙事務所に「なんでも労働相談」を開設する。

街頭行動は、朝七時からキャッセン大船渡前交差点、権現堂道四五号・一〇七号交差点、リアスホール前交差点に十四名が参加した。寒い中、お疲れ様でした。

第四八回衆院選 働く者・生活者の立場に立った 政治勢力の拡大

一〇月二〇日公示、二三日投票日

二〇一七年九月二十八日、安倍総理は第一九四臨時国会を召集し、その冒頭に衆議院を解散した。第四八回衆議院議員総選挙は、一〇月二〇日に公示され一〇月二二日投票の日程で実施される。

今国会では、働き方改革関連法案をはじめ、重要案件が審議されるはずであった。それらを放り出す安倍政権の姿勢は、国会・国民の軽視、過労死や過労自殺が相次ぐ中、働く者の命と健康を守る長時間労働規制が先送りなど、極めて遺憾である。

連合は、解散総選挙に対する考え方◆今回の解散は「大義なき、究極の自己都合解散」◆そもそも「社会保障の充実」を先送りしてきたのは安倍総理自身◆時の総理が国政選挙の度に争点隠し、抱きつき戦略に出てくるのは世も末◆仮に憲法改正が争点になるのであれば、問われべきは総理の解散権の制限◆財政再建も先送り。残り

たのは副作用のリスクと将来世代へのツケ◆経済最優先を謳う割には地域経済や国民の暮らしに無責任◆新しく発足した内閣が国会質疑を経ないまま解散するのは国会・国民軽視◆疑惑隠しの疑い。何より働く者の命と健康を軽んじており極めて遺憾。示して対応方針を提起した。詳細は事務局まで。

連合岩手は、本部方針を確認し、組合員はもとより家族や友人知人に呼びかけて、各選挙区で「働く者・生活者」の立場に立った政治勢力の拡大をめざすこととし、新二区候補者は、畑治治氏（元職二期）を推薦、比例代表選挙は、各構成組織の決定に委ねることを基本とした。

気仙地協は、連合岩手の対応を確認し、連合気仙選挙対策委員会を設置し、連合地区選対や畑治治氏・気仙ブロック担当者と意思疎通を図り、「法令遵守」の徹底の基に選挙闘争を展開する。

働くことを軸とする安心社会へ
安心&希望をつなぐ

畑 こうじ 個人演説会

日時: 10月19日(木)
18時30分から
場所: 猪川地区公民館

【注意】駐車場は、盛川河川敷を利用することになります。駐車をスムーズに誘導するため、前田信号交差点を経由して、盛川上流方面からの進入をお願いします。

皆さん、誘いあってご参加を...

みんなで幸せになる政治を

- 〈9つの政策〉
- 東日本大震災の復興の完遂
- 災害対策の抜本的転換
- 地域底上げ経済政策を推進
- 「田園からの産業革命」を進める
- 生活者本位の雇用政策
- 立憲主義に立脚した憲法論議 等



畑こうじ氏

◆プロフィール◆
昭和38年9月28日久慈市大川目町生まれ。早稲田大学法学部卒。建設省に入省、在ドイツ大使館勤務-地方・都市、外国と幅広い分野で活動。平成21年8月衆議院議員に当選(2期)。各理事等を歴任。

投票へ行こう!

-あなたの1票が未来を決める-

選挙行動は、一人ひとりが主役です。自分の未来をしっかりと考え、自分の一票を、自分が望む未来のためにしっかりと投票すること。働く人や弱い人が「報われる社会」を取り戻すために行動しよう。

投票日の投票が不確実の場合、事前に期日前投票の実施を。期日は一日から二日までの間。投票時間帯は八三〇～二〇〇〇になる。大船渡市役所本庁、陸前高田市高田地区コミュニティセンター、住田町役場交流プラザ。以下は、一六日から一三〇～一七五まで。三陸支所、綾里・吉浜両地域振興出張所。棄権せずに投票を。



連合エコライフ21 RENGO 環境フォーラム



地球規模の環境保全は、たった1人だけの行動では変化しないかも知れませんが、1人の行動から問題意識が周囲に広がり、結果として世界を変えられるかも知れません。

10月1日、キャッセル&パーティを会場に、2017 クリ・ソコアゲの一環として「RENGO 環境フォーラム」を開催した。講師に大船渡市市民環境課の千葉真琴氏を招き、大船渡市の環境衛生施策と題し、望ましい環境像「自然と調和し、よりよい環境を 未来につなぐまち 大船渡」の実現のためには、自主的な環境配慮が必要であり、環境負荷の現状、3Rの実践を中心に各種の取り組みが紹介された。



一〇月一日から二週間、大船渡湾ではマダコ漁が行われています。

マダコ漁は、毎年十一月のアワビ漁開きの期間に合わせて行われるのですが、今年マダコが大量発生し、駆除の意味も含めて、例年になく早い時期の漁となりました。というのも、マダコはアワビを食べてしまうのだそうです。十一月のアワビ漁を前に、貴重なアワビがマダコに「食べられてしまっただけ困る!」ということで、今回の漁が行われています。

この辺で採れる代表的なタコはマダコとミスダコです。ミスダコは大きくて、柔らかい食感が魅力ですが、その名の通り、やや水っぽく感じられます。マダコは小ぶりですが、身が締まっていて歯ごたえが良く、味が濃いので、ミスダコよりもマダコの方が美味しいと喜ばれます。そんなマダコが大量に取り放題なんて、漁師たちにとっては嬉しい贈り物。我が家でも父が喜び勇んで漁に行き、何枚か採ってきてきて刺身や酢の物などにして頂きました。サンマが不漁かと思うとマダコは豊漁だったり、他の職業もそうだと思いますが、漁業も毎年いろんな変化があっただけでなく一筋縄では行きませんね。 Y・近

